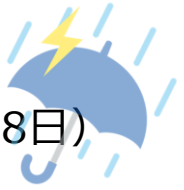




持続可能なインパクトを生み出そう

第3132回例会 (7月28日)
クラブフォーラム地区基本方針 新しい扉を開く
会長基本方針 ロータリー活動を楽しもう会長 和田 達也
幹事 笠松 誠一

●会長スピーチ

会長 和田 達也



本日もお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

ロータリーは超我の奉仕の精神のもと、地域貢献活動を行うことが1丁目1番地だと思っています。

一人ひとりの力は小さくても、皆さんと力を合わせて大きな成果を楽しみながら活動を行えるよう、今日は奉仕プロジェクト委員会を中心にクラブフォーラムをおこない、多様な意見を出していただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

●幹事報告

幹事 笠松 誠一

○青少年育成福井勝山市民会議のご案内

◆到着物

○青少年育成福井県民会議 総会資料

●出席報告

小林 達治

7月28日	欠席3名	85%
7月21日	欠席2名	90%

クラブフォーラム 奉仕活動を考えよう



織田奉仕プロジェクト委員長

今日は3つのグループに分かれて、過去の奉仕活動をまとめた資料をもとに、会員年数の長い会員からお話を聞いていただけたらと思います。

グループ1

鷺田政憲、和田耕三、和田達也、笠松誠一、山内智子、山本泰司
(報告者：笠松)



- これまでの奉仕活動について、鷺田会員、和田会員より紹介。
あわせて創立50周年記念誌「勝山50年のあゆみ」を新入会員に配付
○ 最終例会や炉辺会議等で議論されたことも実績がある。例えば 交換留学、留学生の受入れ、ALT との交流も取り組まれてきた。ライオンズクラブとの協働も、スキーイベントなどが行われていた。
- 新しい会員にとっては、ロータリークラブ寄贈のものを見かける、活動のアピールになっている。
○ 三室山山頂の旧跡方位版 (S58年) は今も活用されている。(本体にロータリー寄贈明記)
○ 平泉寺まほろば、ゆめおーれ、勝山駅に蛇の目傘がおかれており観光ガイド活動にも活用。傘立てにロータリー寄贈が明記されている
○ 勝山駅や道の駅に寄贈した「恐竜大時計」は関心の高いものとなっている。しかしロータリー寄贈が本体でなく、贈呈票が別にあり、ロータリーが小さく目立たず残念。
○ 中央公園の太陽電池時計塔(創立25周年)は、公園改修に伴い撤去されるらしい。公園計画のワークショップで説明されたが、異論が出なかったよう。
中央公園や寄贈樹木の多い長山公園で、野外例会を開催して、奉仕活動を語らうのはどうか。
- 今後の取組みに「もも」の特産物化への支援提案。勝山水菜や若猪野メロンに続くものとして。
これに対しては、全否定はしないが、しっかりしたストーリーが必要である。ロータリーとして企画、生産、マーケティングのどの部分を支援できるのか検討必要。農林水産省や経済産業省、県、市、JA等の支援、補助金の活用が先ではないか。果実では「前橋バナナ」が有名。国産無農薬、皮まで食べれる、一本500円で道の駅で即完売。この取組を参考にしているかどうか。しかし、桃栗3年で長い取組期間が必要で失敗も多い。
- 継続性のある事業か、単発の事業かの検討。ロータリー財団の資金を活用していくことを前提で3年計画を考えていく。このことに焦点を絞って、実現可能で、資金や労力に無理のない、国際交流も含めて検討。

8月4日
プログラム

会員卓話 田中会員

8月11日

休会

8月18日
プログラム25-26年度会計報告
クラブニング ファンター

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30 例会場 勝山市市民交流センター

〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地 TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760

URL: <https://rid2650.gr.jp/club-katsuyama> Email: katsuyamarc@gmail.com 編集発行・文責 公共イメージ委員会

グループ2

メンバー：斎藤、山内、上山、飯田、滝川



これまでの事業（資料内）について特に以下の事業について意見がでた。

1. 長山公園作業
この事業はいつまでやるべきなのか。
2. 理科作品展
昭和61年からスタートしているが、やはりそろそろ考え時ではないか。
3. 長尾山公園にブナ林
ロータリー50周年記念事業として実施されたが、記念石碑も無いのが現状。
4. 恐竜大時計
60周年記念事業として開催され、今の多くの観光客が記念撮影をしている。その効果は大きい。
5. ボーズマンとの交流事業の今後について
勝山ロータリークラブ単独で動くより、勝山市や教育委員会との関わりをもってもらい進めた方がよいのではないかと。
勝山市はロータリークラブからの盛り上げを期待している。（市長と対面時談）
2028年のボーズマンサンライズロータリークラブ再来日時には何か始めるためには、早急に事業内容、予算を具体化すべきではないかと。

自分自身の経験談あり。

高校時代に、主催の記憶はさなかではないが、「外国とヤングと語る会」の募集があり、自身がESS部に入部していた事もあり、友人数名と参加。

会場はお寺の貸し切りで、他校の生徒や外国の方（若い方）数名とゲームや海遊びなどしながら2泊3日くらいの共同生活をした経験がある。具体的な事は覚えていないがとても楽しかった出来事の一つ。これからボーズマンとの交流事業を進める上で、対象者にはこの「楽しい！！」と思ってもらえる感覚は大切だと思う。

ボーズマンに実際行ったメンバー（偶然にも2班は4名の参加者）がその素晴らしさを伝える事に尽力することが大切では。

グループ3

メンバー：中道、小林、辻、多田、幅田浩司、織田



過去の活動を振り返りながら、今後の奉仕活動について主に以下について意見を出し合いました。

○ボーズマンサンライズRCとの交流について

2028年に勝山に訪問予定もあり、それに向けて勝山市を巻き込んだ継続的な活動が必要では。

- ・ズームでの交流など
- ・子供達を派遣するのは行政の協力などちょっとハードルが高いかも。
…恐竜学部の学生など大学生ならホームステイ先を紹介するなど可能性あるのでは。

○「特殊詐欺被害防止」に貢献できることがないか。

前段として以前2回実施した独居老人宅への火災報知器設置事業。前回から10年以上経過しているので電池更新時期ではあるが、今の社会問題としてはこちらの方が重要では。

具体的な方法として

- ・警察などとタイアップして啓発活動(ちらしなど)。
- ・留守番電話やスマホの設定のサポートを会員が行う。
- ・機会としては年金支給日に金融機関やサンプラザで。

…など、他にも何かしらできる事がありそうな気がするので具体的に検討してはどうか。

○中高生向けに（キャリア教育）

高校卒業後に県外に進学、就職することが多い中、少しでも地元に戻ったり残ってもらうための何かができないか。

- ・若い世代で勝山で頑張っている人がいることを知ってもらい、話を聞く機会を提供できないか。
(OB、OGで自分達と近い年代の人の話の方が心に響くのではないかと)
- ・そのためにはどんな人がいるか調査が必要。
→会員のネットワーク、商工会議所と連携。

○その他

改修が予定されている中央公園の恐竜公園化？（寄贈した時計塔があるが撤去されるだろう）

…担当者に卓話に来ていただくなど、市の方針など確かめる必要もある。